



2024年4月10日

各位

会社名 株式会社 コックス  
代表者名 代表取締役社長 三宅 英木  
(コード番号：9876 東証スタンダード)  
問合せ先 経理部長 柳澤 愛  
(TEL：03-5821-6070)  
当社の親会社 イオン株式会社  
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫  
(コード番号：8267 東証プライム)

### 個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）の個別業績において、前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

#### 1. 2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	14,852	422	428	214	7.78
当期実績 (B)	14,877	1,194	1,395	1,145	41.48
増減額 (B-A)	24	771	966	931	33.7
増減率 (%)	0.2	182.9	225.4	433.4	433.2

#### 2. 個別業績と前期実績値との差異の理由

売上高は、正価商品販売ピーク時期におけるブランド発信強化・売上拡大策として雑誌タイアップ販促企画を5回実施（3月・4月・5月・10月・11月）いたしました。その結果、既存店売上高前年比は102.2%まで伸長いたしました。また、自社ECサイトにおきましては、店頭での会員獲得強化に努めました。DtoC強化では専門人材の確保・育成に継続して取り組み、販売が好調に推移しているインフルエンサーとのコラボ商品を拡大いたしました。その結果、EC売上高前年比は106.2%まで伸長いたしました。

売上総利益は、販売面では、バーゲン時期の値引き抑制、催事・EC等でのキャリア商品の丁寧な活用を推進するとともに、商品面では、為替リスク対策を講じながら、中国ならびにアセアン地域からの商品調達拡大による仕入原価の低減を図り、売上総利益率は4.9ポイントの改善となりました。

更に販管費は、人件費を中心とし削減に努めた結果、前年比99.6%となりました。

以上、売上総利益の増加と販管費の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前年を大幅に上回る結果となりました。

以上